

## 令和5年度 幼児教育活動の評価と反省

## ○評価の尺度

評価は、4(十分達成できている)、3(おおむね達成できている)、2(達成に努力が必要である)1(達成できていない)の4段階の尺度を用います。

## I 園経営

☆共通理解・共同実践(教育目標)		評価	意見等
		12月	
1	教育目標は幼児、こども園、地域の実態、課題に即応している	3.3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育課程について職員間で考えられているが、教育目標などは周知されていないように感じる。</li> <li>・保護者へ幼児教育とは何か、こども園での教育方針を発信して、園生活について理解してもらうことが必要だろう。</li> </ul>
2	教育目標は職員、幼児、保護者に理解されている	2.9	
3	具体的重点実施事項を設定し取り組みを実践している	3.2	
4	教育課程に基づいて「計画・実施・評価」がなされ、次年度にいかし改善するようになっている	3.4	
☆組織づくり		評価	意見等
5	目標の達成を目指す分掌組織になっている	3.3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・役割を担った職員が中心に全体をまとめ話し合いながらチームで行事や保育を行っている。</li> <li>・職員間で連携をとるようにしているが、円滑に行うことが難しいと感じることがある。</li> <li>・年度初めはクラス担任の連携が取りづらかった。</li> <li>・午前・午後で保育が分かれているので担任同士で話す時間が取れず、情報共有が難しかった。</li> <li>・人数も多い為、それぞれの保育者に連絡事項を周知することが難しい。</li> </ul>
6	学年・学級相互の連絡が円滑で、園全体として意欲や力を発揮できる組織になっている。	3.2	
7	職員会議で話われたことが教育活動や園運営にいかされている	3.4	
8	園務分掌の組織を確立し、各分掌が具体的に機能している	3.2	
☆危機管理体制		評価	意見等
9	安全点検は計画的に実施し、点検結果に基づいた方策が選択されて改善がなされている	3.0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・連携をとって対応はしているが、共通理解をするまでに時間がかかることがある。</li> <li>・安全点検日を週案に入れてない事が多かったので、月案・週案で必ず確認し、職員全体で共通理解をする必要がある。</li> </ul>
10	事件・災害・幼児の問題行動・園へのクレームに対し、全教職員が共通理解のもと適切な対応ができている	3.4	
☆環境整備		評価	意見等
11	教室や廊下等、幼児の活動の様子や季節に適した掲示を行い、安全面での注意喚起へも配慮した整備をしている。	3.6	<ul style="list-style-type: none"> <li>・安全面に配慮しながら、子ども達が主体的に遊びを進めることができるような環境作りに努めている。</li> <li>・園内外の環境は全職員で整備している。</li> <li>・草刈りやビオトープの整備は1年通して行うように時間を確保した方が良い。</li> </ul>
12	栽培活動計画が計画的に推進されている	3.2	
13	学級・園庭等、敷地内は美しく整備し、安全面でも配慮している	3.0	
☆施設設備・予算関係		評価	意見等
14	施設・設備は充実している	3.1	<ul style="list-style-type: none"> <li>整備に時間を要するため、後回しになってしまうことがある。</li> </ul>
15	備品等の管理はきちんとされている	3.2	
16	園地・園舎の維持管理について全教職員が協力して実施している	3.2	
17	予算の編成・執行等の方法や手続きは、適正に行われている	3.6	
☆園内研修(研修)		評価	意見等
18	園内研修は、研修主題に沿って、計画的に実施している	3.3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前年度の反省をもとに話し合っている場を撮影して、他の職員に見てもらい共通理解できるようにしたことは良かった。</li> </ul>

19	園内研修の成果は、日常の教育実践の場で具体的にいかされている	3.3	しかし、あまり話し合う時間がなかったため、職員同士で意見交換の時間は作った方が、より研修内容が深まるだろう。 ・研修について情報交換することはあるが意見交換まで行うことが難しい。 ・園内研修を計画的に行ってきたが、全員への周知が難しかった。共通理解ができるよう次年度も努めたい。
20	職員がともに高めあう研究が推進できるように、意見交換や情報交換がなされている	3.1	
21	保育研究会を通して指導力の向上が図れるようにしている	3.2	
22	職員一人一人が自らの研究と修養に努め、活力ある教育活動を展開している	3.3	
☆情報の発信と連携(開かれた園づくり)		評価	意見・改善策等
23	こども園のホームページや各種の「便り」、「通知文」等で保護者や地域への情報発信を実施している	3.3	・お便りなどで情報発信をしているが、伝わっていないこともある。 ・クラスごとに子どもたちの様子を発信するよう努めてきたが、保護者から「園の様子が見えない」という意見があった。発信の仕方を工夫していく必要がある。 ・保育参観日を増やしていく。また、個々の園生活の様子を保護者に写真で示したり、登降園時に話したりすることを密にしておくことで情報共有が出来るだろう。
24	保・こ・小・中の連携を図るために、具体的な取り組みが実施されている	3.6	
25	保護者や地域との連携を密にし、幼児教育への理解と教育を得られるようにしている	3.0	
26	保育参観日の日程や内容は適切である	3.2	
27	地域を学習の場としたり、地域の人材を活用したりしている	2.7	
II 指導内容			
☆教育課程の編成と実施		評価	意見等
28	指導計画は適切に作成され、指導にいかされている	3.7	・指導計画に基づいて保育や行事に取り組んでいる。 ・今年度絵本コーナーの環境を整えたり、絵本貸出方法を変えて絵本に親しみやすくなったと思うので、絵本の読み聞かせ(担任外)の時間を作ってより絵本に親しむ時間を作っても良いだろう。
29	教育時間は適切である	3.7	
30	週行事の配置は適切である	3.6	
31	行事の精選は適切に行われ、計画的に実施されている	3.6	
32	全職員が週案を作成し、計画的に保育を実施している	3.4	
33	絵本などに親しむ為の活動が計画的に実施されている	3.2	
34	道徳性の芽生えを培うための活動の工夫がなされている	3.2	
35	体験的な遊びを重視し、教材の工夫や環境の工夫がなされている	3.6	
36	指導と評価の一体化が図れるように、計画的な評価を実施している	3.3	
☆幼児理解(指導・援助・教育相談等)		評価	
37	一人一人の課題を把握し、個に応じた指導を実施している	3.4	・1人1人の実態を把握しながら対応するようにしている。 ・登園時間や忘れ物をしないことについては保護者へ呼びかけをして、園と家庭で連携を図って習慣を身に付けていく必要がある。また、どうやったら意識づけが出来るか職員で話し合っていくと良いだろう。 ・一人一人の子どもに寄り添った対応ができるよう心掛けている。
38	時間を守る、忘れ物をしない等の園生活に関わるきまりについて、意識が高まるように指導している	3.3	
39	進んであいさつができるように、指導の充実や取組の工夫を行っている	3.3	
40	基本的な生活習慣の定着を図るための指導をしている	3.4	
41	個人面談や日常的な相談活動を充実させている	3.1	
42	全教職員の共通理解と協働により、いじめ・不登校・問題行動等の予防や対応は速やかに、適切に行っている	3.4	
☆特別支援教育		評価	意見等
43	特別支援教育コーディネーターを置き、特別支援教育の充実に努めている	3.8	・支援担当者同士での話し合いがあまり持てなかったため、機会を増やせるよう工夫していきたい。
44	幼児の障害の状態や特性などに応じた、個別の支援計画や教育課程を編成して、教育活動を実施している	3.8	
☆学力向上対策		評価	意見等
45	組織体制は確立し機能している	3.6	・4月から5月にアンケートや実践の時期を決めて計画を立てておくことと取り組みやすいだろう。 ・アンケートもなくなっているため、学力推進に向けた取組を保護者へ発信す
46	学推の取り組む内容及び計画は適切である	3.3	

47	内容は職員や保護者に理解されている	3.0	る機会がなく、理解されていないこともある。
48	計画は円滑に実施されている	3.0	
☆子育て支援		評価	意見等
49	教師と預かり保育担当との連携を取りながら、預かり保育の充実を図って	3.6	・子育て支援事業を園内で取り組んでいるので、交流しやすくなって良い。
50	園庭開放や未就園児交流が行われている	3.3	

### Ⅲ 健康教育の充実

☆健康・安全・食事指導の充実		評価	意見等
51	諸検査や健康診断等を通して健康な体を知り、健康の自己管理能力が育つように、発達に応じた保健指導を実施している	3.8	・身体を清潔に保ったり、食の栄養について伝えたりと健康について意識して指導することが出来た。
52	手洗い、うがいなどの健康管理と、好ましい集団生活が送れるよう指導し	3.6	
53	園便りや保健便りなどの家庭への配布物をとおして、保健指導を充実させるようにしている	3.6	
54	給食や弁当等を通して、食に関する指導を行っている	3.7	
55	交通安全指導、不審者対策、水難防止等のために、幼児の危機回避能力を高めるように指導している	3.9	

### Ⅳ その他

・職員間の連携がとりやすくなると、共通理解でき、保護者への対応や子どもへの関わり方も統一しやすい。